

日立市民文化遺産を写真で巡る旅 Ⅲ（前編）

南部地区	日立市民文化遺産	頁	南部地区	日立市民文化遺産	頁
南部1	照山修理顕彰碑	2	南部7	泉が森とイトヨの里、泉神社の棟札	12
南部2	覚念寺の木造聖徳太子座像	3	南部8	水木ささら	14
南部3	金沢のつるし米とかけ絵「無告の民」	4	南部9	吉田神社の棟札	15
南部4	金沢弁天公園	8	南部10	甕の原古墳群4号墳	17
南部5	大沼松苗植樹記念碑	9	南部11	日立灯台	18
南部6	でんがくばら児童公園の長塚節歌碑と水木遠見番所跡	10			

南部地区1 (金沢町2丁目)

照山修理顕彰碑

照山修理は、江戸時代に水戸藩で実施された**寛永検地**の折に金沢村の検地の免除を強訴(ごうそ)して、処刑されたと伝わっています。明治28年、金沢町の**長福寺境内**に「照山修理顕彰碑」が地域の人達によって建てられました。



照山修理顕彰碑
寛永十三年(1636)水戸藩で実施された寛永検地の際、金沢村の検地免除を強訴(ごうそ)して、処刑されたと伝わっています。明治28年(1895)、金沢町の長福寺境内に「照山修理顕彰碑」が地域の人達によって建てられました。



長福寺

照山修理没後、350年を記念して「**義民・照山修理フェスタ350**」が、平成3年に「さんさん祭り」で開催されました。



照山修理の墓



南部地区2 (金沢町4丁目)

覚念寺の木造聖徳太子坐像

木造聖徳太子座像は、檜材の寄木造りで少年期の孝養太子像が多い中、**壮年期で講賛太子像**は貴重なものです。現在は、金沢地区の毘沙門組太子堂保存会が毎年8月14日に「**太子尊祭礼**」を行っています。



県指定彫刻

本堂 聖徳太子坐像
「聖徳太子坐像」は、玉置材の寄木造りで、少年期の孝養太子像が多い中、壮年期で講賛太子像は貴重なものです。現在は、金沢地区の毘沙門組太子堂保存会が毎年8月14日に「太子尊祭礼」を行っています。



太子堂



太子尊祭礼



覚念寺

南部地区3（金沢町5丁目）

金沢のつるし米とかげ絵『無告の民』

「つるし米」の伝承や『無告の民』（齊藤良栄作）と題して、かげ絵を演じているのが「かげ絵同好会」です。

つるし米

江戸時代の金沢、大久保村は田んぼが少なく、土地も痩せていて米が取れない貧しい村でした。、普段はソバ、アワ、ヒエを食べて暮らしていましたが病人や妊婦がいると米を袋等に入れて天井からつるし、元気をつけました。



市報ひたちなか—まち
の話題より

無告の民

江戸時代の寛永18年に実施された検地の際、免除を訴えて処刑された金沢村の庄屋照山修理を題材に「無告の民」として演じているのが金沢町の「かげ絵同好会」です。



かげ絵『無告の民』の一場面



かげ絵同好会

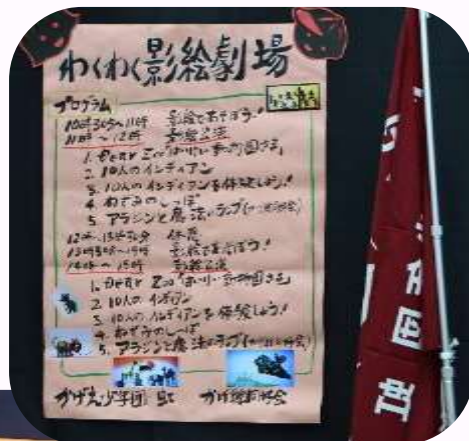
童話やふるさとの昔話、日立市周辺の歴史物語などを「かげ絵」にして幅広く公演しています。



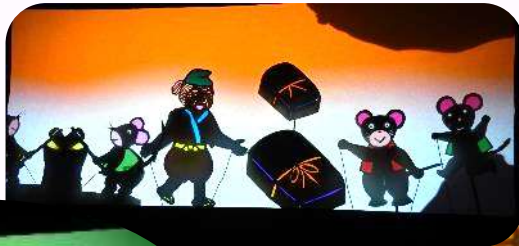
視聴覚センターにて



かげえ少年団「虹」



おむすび
ころりん



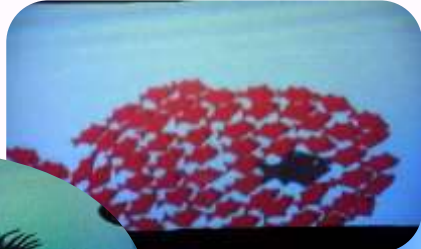
サクラの花の
咲く街で



おむすび
ころりん

サクラの花
の咲く街で

スイミー



かげ絵

ねずみのしっぽ



おわり

ねずみ
のしっぽ



スイミー

10にんの
インディアン



アラジンと
まほうのランプ



10人のイ
ンディアン

アラジンとま
ほうのランプ



南部地区4 (東金沢町4丁目)

金沢弁天公園

東金沢町にある金沢弁天公園内には、小さな池があることから、かつて、水の神である**弁財天**が祀られていましたが、いつしか、**巖島神社**になったと考えられています。



ため池



巖島神社

南部地区5 (東大沼町1丁目) 大沼松苗植樹記念碑

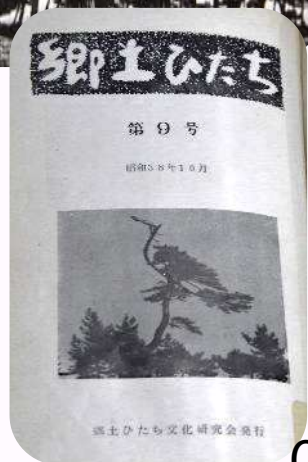
大沼松苗植樹記念碑は、国道245号沿いに二つあり、大正5年と平成6年に建てられたものです。大正5年、この付近の**海岸沿いに防風林として松苗2万3000本**が植えられた記念碑です。



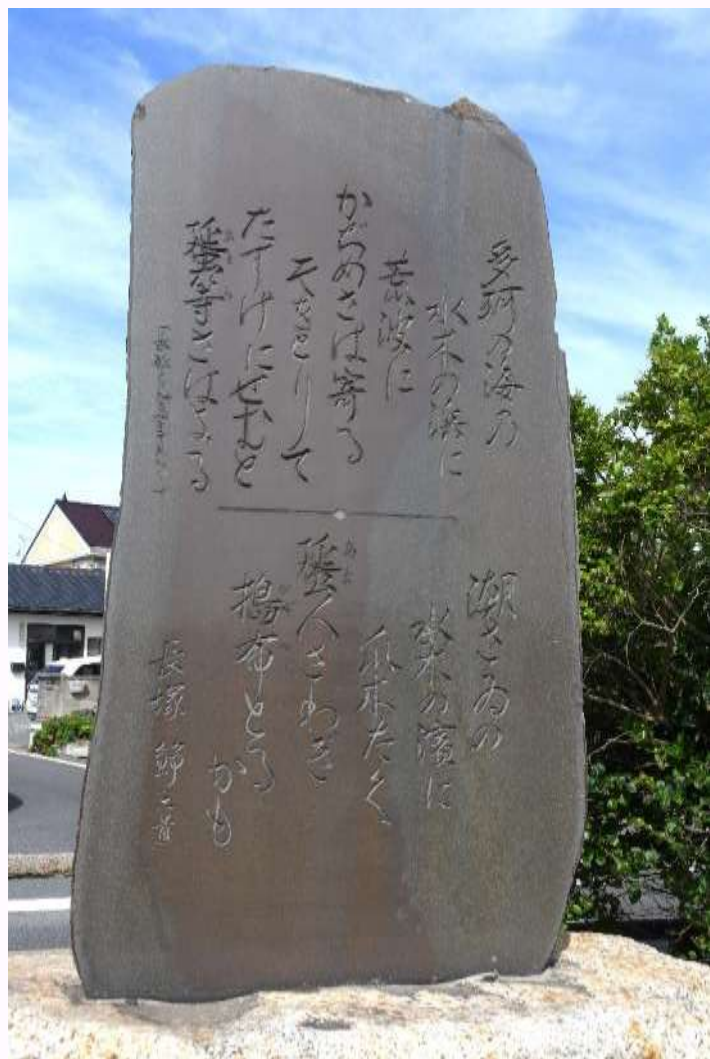
国道245号沿い



「**鶴亀の松**」は昭和34年以前、国道245号望洋台パーキング付近にありました。(郷土ひたち第9号)
目次へ



南部地区6 (水木町1丁目)
 でんがくばら児童公園の
 長塚節歌碑と水木遠見番所跡



でんがくばら児童公園は、水木町の太平洋に突き出た台地の田楽鼻にあります。ここに、長塚節(たかし)が明治35年3月に諏訪梅林を訪れた時に、水木海岸で詠んだ歌の中から二首が刻まれています。

でんがくばら児童公園



田楽鼻岬

水木遠見番所

水木遠見番所は、水戸藩によって**異国船監視**のため設けられ、**大砲3門**を備えました。その後、**郷土河村家**が代々監視の役を担い、敷地内には「**御番所跡**」の碑が建っています。



江戸前期と後期の2回、番所となった。

河村家(水木町)



南部地区7 (水木町2丁目) 泉が森とイトヨの里、泉神社の棟札

水木町の泉が森は、県指定史跡に指定され、『常陸国風土記』にも「密築(みずき)の大井」として記されています。今でも清水が湧く泉があり、そこに**弁財天**が祀られ、泉神社があります。



泉が森

県指定
史跡



湧水



藤田東湖詩碑

泉神社



弁財天





名水百選に認定



泉神社の棟札



イトヨの里
(泉が森公園)

郷土博物館所蔵



イトヨ 5cmほど

目次へ



水木ささら

水木ささらは、泉神社祭礼の折に露払いとして**五穀豊穡**や**大漁**などを祈願して奉納されます。ささらは、獅子、射子舞(しゃごま)、**金棒ひき(水木のみ)**、笛などで構成され、比較的大久保ささらと似ています。



泉神社の祭礼にて

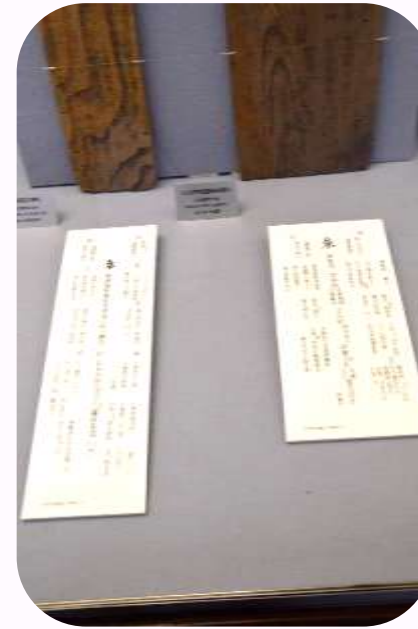


2019.5.3撮影

南部地区9 (森山町3丁目) 吉田神社の棟札



森山町の吉田神社は、八幡社として**神仏混合**の色濃い神社でしたが、社寺改革により吉田神社に改められました。この神社は、社殿などの建造物にかかる記録のある棟札が**27枚確認**されました。



市指定文化財に指定

郷土博物館所蔵

森山吉田神社とその庇護者たち

森山町にある吉田神社は延暦14年(795)に創建されたと伝えられる。当初は八幡社であった。15世紀初めには常陸国南部に勢力をもっていた大塚氏の一族とみられる人物がこの神社の庇護者となっており、15世紀末には大塚郷の大塚氏、16世紀に入ると佐竹氏と大塚氏の庇護をうけている。江戸時代、水戸藩の寺社改革によって吉田神社にあらためられ、森山と大沼村の鎮守とされたが、八幡信仰は消えずに今に伝えられている。



吉田神社



目次へ



馬力神



森山町の一里塚跡碑

一里塚とは、江戸時代の街道に距離を知るためと旅人の休憩場所の目的で一里約4kmごとに築かれた塚を言います。



森山町6号沿い



南部地区10 (大みか町3丁目) 甕の原古墳群4号墳

甕の原古墳群は、大みか小学校北東側の段丘上にある6基からなる古墳群で、「六ツヶ塚」とも言われました。開発のため、半分は姿を消しました。



市指定史跡



横穴式石室



4号墳



3号墳



家形埴輪
(水木古墳群出土)

南部地区11 (大みか町4丁目) 日立灯台

日立灯台は、大みか町の古房地(こぼうち)公園内に立つ白亜の大型灯台で、昭和42年3月に設置、初点灯されました。管理者は海上保安庁です。

古房地公園



高さ 約25m
標高 約42m
光の強さ 21万カンデラ
光の届距離 12.5海里(約23km)

日立灯台
～沖行く船を待てる日立灯台～

日立灯台は、日立市の海岸にあり、昔から出入りする船舶の安全を守るために設置された灯台です。昭和42年3月に完成し、初点灯されました。この灯台は、海を渡る船の安全を守るために、日々点灯されています。

名称	日立灯台
所在地	茨城県日立市大みか町4丁目
竣工	昭和42年3月
高さ	約25m
標高	約42m
光の強さ	21万カンデラ
光の届距離	12.5海里(約23km)
管理者	海上保安庁



目次へ



スカシユリ



はまぎく



目次へ

